

令和2年度 堺西高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

日時：令和2年11月5日（木） 14：00～15：45

場所：校長室ならびに授業見学教室

内容：授業見学ならびに運営協議

【運営協議会委員】（敬称略）

（委員）堂之本 篤弘（大阪工業大学特任教授） 会長、
中村 浩也（桃山学院教育大学教授） 副会長、
藤田 智子（桃山学院大学教授） 欠席
札幌 尚美（福泉南中学校校長）、
大仲 清司（福泉中央校区自治連合会会長）、
石田 真由美（本校PTA会長）
（学校事務局）校長、教頭、事務長、野瀬正人首席、楠本弘幸首席

1. 授業見学

日 時：令和2年11月5日（木）6限

場 所：音楽・書道・美術各教室（のち校長室へ移動）

担 当 者：西村 尚美（音楽）、白垣 京子（美術）、下野 友美（書道）

ク ラ ス：1年1・2組

科目・内容：音楽 発声練習、歌唱練習、グラッピングラブソディ など
美術 シルクスクリーン技法を使ってトートバック印刷 など
書道 隸書の説明および実技指導 など

（授業見学後の委員からのご感想まとめ）

委 員 …音楽授業では特に男子生徒の声がよく出ていたのに感心した。書道、美術でもいろいろと見せてもらって、作品の出来栄がいいことから、生徒の技能を育成するという点で、どの科目も教員の指導力の高さを感じた。生徒たちが本当に楽しみながら取り組んでいるのを感じることができた。

委 員 …自分は大学での経験はあるのだが、初めての高校の授業見学だった。一般的に社会問題視などがされていたことから、自分には高校の授業も詰め込み教育のイメージがあったが、今日の様子をみると、そうではなくて自然体で教師と生徒がふれあって授業が進められていて、とてもよかったと思う。

委 員 …これまで機会があったが、今日初めてこの高校の授業を見学することができた。音楽の授業で男子生徒の美しい声も混じって響く「瑠璃色の地球」を聴いて、目頭が熱くなった。書道も美術も高校の授業レベルは高いと感じることができた。先生方と生徒の間に壁がなく、必要な対話をしているようで楽しそうだった。

会 長 …大きな教育界の流れでは、授業づくりは生涯教育の観点から行うということが言われている。特に実技科目では技術の向上を図りながら、楽しんで親しむことと教えることが大切だと思う。その点では、概ねよかったと感じる。今日の書道のプリントに典型的に出ていたように、芸術では鑑賞行為を大切にすることも必要である。すでにされていると思うが、他の生徒による作品等をどう鑑賞するかという「相互鑑賞」の機会も設けて、そのノウハウを生徒たちに教えてほしい。これからもよい授業づくりに学校として取り組んでいただきたい。

2. 学校概況の報告

校長：

〈あいさつ〉

委員の皆様、本日はご多忙のなかをおいでいただきまして、ありがとうございます。授業見学をしていただき、それにつきまして、貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。今後の本校の授業づくりの参考にさせていただきます。それでは、私のほうから、本校の現状として、主な点を報告させていただきます。

〈行事の実施について〉

9月には西校祭の文化の部と体育の部を行いました。開催にあたっては、コロナ感染症の状況の推移をにらみながら、教員も生徒も協議を重ねました。私としては、本校の特色として行事が盛んであり、それを通しての人間教育の伝統もある学校なので、対策を講じたうえでの開催を決断したしだいです。開催当日の生徒たちの様子、顔の表情などをみて、やはり行ってよかったと思っております。1年生担当の教員からは、新入生たちもこれらの行事を通してやっと本校の一員としての自覚が深まったような感じがするという報告を受けています。保護者の参加についても、生徒会部代表者と相談を重ねて、いろいろと悩みましたが、文化の部は1名限定、体育の部は3年生の保護者1名限定ということにさせていただきました。子どもたちの晴れの舞台を観ていただくことが、保護者の方々と一緒に学校づくりをしていくうえで、やはり大切だと考えた次第です。11月に予定していた2年生の修学旅行は3月に延期しました。中学生向けの第1回学校説明会は開催しました。例年とは異なり、体験の場面を入れないかたちで行いました。今年度は夏の大きな説明フェアが中止になりますので、説明が中心になるかたちであっても行う必要があると考えました。アートスタジアムについても実施しますが、2回に分けて、内部発表のみというかたちで行う予定です。

〈授業について〉

次に、授業についてですが、現在授業観察を行っています。第1回目の授業アンケートは平均が例年よりも高い数値で出ましたが、これはコロナ禍で自宅で授業を受けるよりやはり実際に学校で受けるほうが良いという感覚が反映したものだと推察しています。実技科目が特に高くなっています。堺西の学校づくりと授業づくりについて考える研修会「SN勉強会」を行う予定です。

〈感染症について〉

コロナ感染症に関連して、これからインフルエンザの季節になってくるので、二つが重なってきた場合にどうなるのかと特に心配しています。今年は風邪の症状に対しても敏感をならざるをえない状況ですから、寒くなってきて風邪気味の生徒が増えてきた時にどうなるのかも懸念しています。寒くても、今年度は換気を欠かすことはできません。全国的に感染拡大傾向にあり、府内でも増えてきている中、大阪府立高校でも連日複数の学校での臨時休業が報告されるようになってきています。しっかりと対策をしていきたいと考えています。

楠本首席：

〈生徒会行事関係〉

生徒会関係の概況です。6月に予定していたクラスマッチ（バレーボール大会）は中止にしました。西高祭文化の部、体育の部は制限をしながらの実施でしたが、保護者には文化の部では200名、体育の部では63名の方に見ていただきました。2月に予定している持久走大会の開催は、今後の様子を見て検討していきます。5月に予定していた遠足は、3年は中止、1年は11月に行う予定で、2年は2月で検討しています。

〈生活指導関係〉

生活指導関係では、携帯電話の学校内での扱いを再検討しています。女子のスラックスを希望者に導入することも検討しています。

野瀬首席：

〈進路関係〉

進路関係の概況です。多くの大学・短大・専門学校の説明会に参加できない状況があり、その場合は、オンラインで参加しています。受け入れ側の受験対応がやや遅れている感もあります。現在、様々な入試が実施中ですが、〇〇〇〇大学には、指定校推薦や特別推薦で8名が合格しました。就職では20名の斡旋希望があり、そのうち一回目の試験で16名が合格しました。よく言われている就職難のわりには、本校は例年並みの合格者を出すことができました。

〈資格検定関係〉

エクセル検定準2級では10名受験し10名全員が合格しました。

3. 協議での意見まとめ

委員：

報告を聴いていると、コロナ感染症対策実施にあたり高校として大変努力されている様子がかがえた。現況では、大学受験の出願にあたっては多くの高校生にとっては、不安を抱えながらの受験になっているのではないだろうか。学校には、そういう生徒たちを支えてがんばっていただきたい。

学校教育における情報の必修化や大学入試科目での導入が話題になっている。それを考えると大学としては高校、中学ともさらなる連携を進める必要性を感じている。

会長：

私の勤務先の大学でも、すでに実施していた実験実習を伴う講義以外での対面による講義が本日から始まっている。希望者にはWEBでの対応もしているのだが、やはり学生の多くは大学施設に来たいと思っているようだ。教員のほうも直接に学生に向かって講義をしたいという希望が根強い。そういう状態なので、色々と想定されることはあるが、教育機関としてコロナ禍の中でも対面型の講義はせざるを得ないのではないかと感じている。

大学も高校も何とか出来ることを実施していくしかないだろう。その場での対応をしていくしかないかもしれないと感じている。堺西高校にも引き続き、この状況下でも、生徒たちのためにできることに取り組んでいていただきたい。

校長：

本日はありがとうございました。今回、皆様からちょうだいした様々なご意見ご感想は今後の今年度の本校教育活動に活かしてまいりたいと存じます。3月に開催予定の第3回の協議会もよろしく願いいたします。